

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(1年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	シトカネウ 新得町	岳ウチ 広内	平成28年度	平成30年度	新得町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			1年度目 達成状況 (%)	
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)		
必須 目標	① 経営面積の拡大				
	② 農業の6次産業化				
	③ 農産物の高付加価値化	1 1	1	1	100
	④ 経営コストの縮減	1 0	1	1	0
選択 目標	⑤ 耕作放棄地の解消				
	⑥ 農業経営の複合化				
	⑦ 農業経営の法人化				
	⑧ 雇用				

II 経営体の成果目標

No	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段: 実績)			1年度目 達成状況 (%)	実績を確認した 資料名等
			1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)		
1	農産物の高付加価値化 (乳成分中の乳タンパク率:%)	3.72	3.75	3.80	3.82	500.0	乳検データ
			3.87				
	経営コストの縮減 (売上高あたりの総経営費:%)	70	68	65	65	-350.0	決算書
77							
参考 (任意)	販売価格(円/10a)		11,050				決算書
	生産コスト(円/10a)		6,513				決算書
	経営コスト(円/10a)						

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

1年度目は、「経営コストの縮減(0%)」が未達成となった。  
 ・農産物の高付加価値化・・・計画どおりに進んでいると判断する。  
 ・経営コストの縮減・・・機械の導入が年度末近くであったため、1年度目は十分な事業効果を発揮できていない。  
 現状値よりコスト割合が増加した理由は  
 ○近隣農家の離農に伴う農地の権利取得  
 ○台風の影響による集客減少(サービス部門)  
 ○農地への土砂や流木の流入によるそ菜部門の生産量の減少  
 などがあげられる。  
 天候の影響なども大きく関わるが、2年度目以降、関係機関と連携した助言等により目標達成に向け進めて行く。